

# 県議会 おおいた

No.81

平成23年2月発行  
大分県議会

編集 大分県議会事務局  
大分市大手町3丁目1-1  
☎097-506-5036  
(ダイヤルイン)  
FAX097-506-1785

題字は、大分県立中津北高等学校 3年 黒土佐織さんの作品です。

■県議会ホームページURL(アドレス) <http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

平成22年第4回定例会	1
主な質問答弁要旨	2
県議会10大ニュース	4
県議会の動き	6



ごあいさつ



大分県議会議長  
安部 省祐

昨年は、口蹄疫問題や尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件など、危機管理能力を問われることの多い一年でした。

こうした中、県議会では第2回定例会において、口蹄疫対策の補正予算案を開会日に議決したほか、第3回定例会では、決算審査を充実し、審査内容を来年度の予算編成に反映させるため、会期を大幅に延長し決算特別委員会を会期中に行うなど、県民目線に徹した議会運営に努めたところです。

県内の景気は、依然として厳しい状況が続いており、先行きは不透明です。

大分県議会といたしましては、こうした状況に立ち向かい、皆さんの声が各種施策に十分反映されるよう、政策提案に努めてまいります。

任期も残り少なくなつてまいりましたが、県議会一丸となつて、「安心して心豊かに暮らせる大分県づくり」に、県民の皆さんとともに挑戦してまいります。

平成22年  
第4回定例会

11月26日に開会、12月14日までの会期19日間で開催した。

今定例会では、教員採用不正事件の賠償金および景気・雇用対策等を計上した一般会計補正予算案(補正額134億6583万2千円)や知事等特別職および一般職の期末手当等を減額する条例案など議案18件、報告1件が提出された。

また、11月30日には、議員提案による議員報酬及び期末手当を減額する条例案を、全会一致で可決した。

12月6日から3日間にわたり行われた一般質問では、12人の議員が登壇し、知事3選に向けた県政運営の考えや、九州新幹線開業に伴う観光振興、教員採用汚職事件に伴う賠償金など県政の諸課題について執行部と活発な議論を行った。各常任委員会は、9日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行った。

最終日には、6日に逝去された故佐々木哲也議員に対する玉田議員の追悼演説が行われた後、知事提出議案18件、議員提出議案11件を原案どおり可決、請願1件を不採択とし閉会した。

一般質問



自由民主党  
大友 一夫 議員

▼地域医療  
▼大分トリニータ



公明党  
河野 成司 議員

▼県政の評価と今後の目標  
▼認知行動療法



県民クラブ  
深津 栄一 議員

▼大入島架橋  
▼佐伯警察署の移転



自由民主党  
元吉 俊博 議員

▼農業の振興  
▼大分空港の利用促進



県民クラブ  
酒井 喜親 議員

▼新幹線開業に伴う観光振興  
▼林業の振興



自由民主党  
近藤 和義 議員

▼TPPの農業への影響と農業戦略  
▼肉用牛振興



自由民主党  
末宗 秀雄 議員

▼県内景気の動向  
▼戸別所得補償制度



県民クラブ  
平岩 純子 議員

▼教員採用選考試験の贈収賄事件  
▼男女平等社会の実現



自由民主党  
濱田 洋 議員

▼陸上自衛隊の増員計画  
▼商工会を活用した地域支援



自由民主党  
井上 伸史 議員

▼観光振興  
▼雇用・人材育成



県民クラブ  
佐藤 博章 議員

▼県立美術館構想  
▼別府湾の漁業



無所属の会  
高村 清志 議員

▼知事選の3選に向けた決意  
▼TPPと本県産業

※質問項目は、一人2項目を掲載  
しています。

**問** 3期目をめざすにあたって、知事の決意を伺いたい。

**答** これからの県政運営に向けての基本的な姿勢は、県民を中心に捉え、安心して心豊かに暮らせる大分県、知恵と努力が報われる活力ある大分県、人材あふれる発展の大分県を築いていくことである。

そのためには、「安心・活力・発展プラン2005」に掲げた施策を着実に推進するとともに、プラン策定後の課題に対してもしっかりと向き合っていかなければならない。

特に、これからは、後期高齢者医療や障がい者自立支援など国において制度改革の論議が行われているものについては、きちんと発言し、県民の安全・安心を守っていくことが必要である。また、国の出先機関の廃止問題のように、九州各県が足並みを揃えなければ解決できない問題については、九州地方知事会等で論議を深めていくことが大切である。

これからの県政は、国の動き、九州全体の動き、場合によっては海外の動きにも目を配りながら、組織の力を最大限に発揮して、取り組んでいかなければならないと考えている。

**問** 日本がTPPに参加した場合、本県農業への影響について県はどう見ているのか？また、攻めの農業戦略をどう立てていくのか？

**答** 「環太平洋パートナーシップ協定」、いわゆるTPPの交渉に参加し、関税が全廃された場合、構造的な課題を抱えている本県農業は、何も手を打たなければ甚大な影響を受けてしまう。

農林水産省と同じ手法でTPPによる本県への影響額を試算すると約560億円の減少となり、本県農業の攻めの戦略をたてることが大事である。

これまで「マーケット起点の商品づくり」を進め、「力強い経営体の確保・育成」を目指して農業の構造改革を進めてきた。集落営農は組織化するだけでなく経営戦略をもった法人化を進めており、法人化率は九州一である。また、農産物輸出については、TPP参加となれば、輸出拡大のチャンスでもある。

今こそ特色ある農産物の生産に努め、「The・おいた」ブランドに磨きをかけるため、企業的な経営体の育成など経営構造改革の取り組みを加速させなければならないと考える。

## 問 これから先の地域社会の担い手をいかに地域に確保するのか？

将来にわたって県の活力を維持・発展させていくためには、より多くの若者が県内で就職し、地域で活躍することが重要である。

これまでもジョブカフェやトライアル就業の実施など若年者対策を講じており、今回補正した緊急雇用対策事業も活用していくが、中長期的には次の3つについて取り組む。

①雇用の場の創出：企業誘致を核に地場企業と一体となって、中小企業の体質強化を図っていきたい。農林水産業においては、生産額の増大や販売力の強化、さらには世界のマーケットに通用する産品の育成など、持続可能なもうかる農林水産業を目指す。加えて、新たな雇用の場として、医療器産業や観光、介護、環境など今後の成長産業の育成・強化にも力を注いでいく。

②人材育成：学校では、知・徳・体の力の向上を図るとともに、社会人として自立していくために必要な生きる力を育んでいく。また、熟練技能者の指導による工業系高校生の技能向上に努めるほか、農業分野では、就農準備研修や就農

実践研修などを実施し、新規就農者の育成に努める。一方で離職を余儀なくされた方には、多様な職業訓練を用意し、再チャレンジへの支援を進める。

③マッチング：若者と企業がお互いをよく知り、理解し合うことが重要であるため、県内企業と高校生が参加する合同企業説明会の開催やインターンシップの推進、就農相談会や優良農業法人へのバスツアーの実施などに取り組みしていく。今後とも、将来にわたって若者が働きたいと思える、また、働ける大分県づくりに取り組んでいきたい。

問 「東九州地域医療産業拠点構想」の策定にあたり、本県単独ではなく宮崎県と共同で策定した背景や本構想の特徴及び今後の産業集積等の計画について。

答 本県と宮崎県には共通して、旭化成や川澄化学工業など血液や血管に関する医療機器メーカーが集積し、製品化においても宮崎県で原材料を製造、本県で組み立てを行うなど連携した産業構造となっており、宮崎県との共同策定が効果的である。

本構想の特徴は、本県で製造されている血液血管関連の医療機器を中心に、①研究開発、②人材育

成、③高度医療、④医療機器生産の4つの拠点づくりを行い、アジアに貢献する地域を目指すことにある。

①については大分大学医学部附属病院が、②については立命館アジア太平洋大学が産業界と連携して取り組むこととしており、③については温泉などの地域資源と医療を組み合わせたサービスである国際医療交流を盛り込んでいる。また、④については企業誘致や地場企業の新規参入・取引拡大支援を行い、自動車や半導体、精密機器に次ぐ新たな集積を目指す。

### 可決・承認された議案等（議員提出）

#### 条例関係（1件）

▽大分県議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について

#### 意見書（10件）

▽今臨時国会における地域主権関連三法案の成立を求める意見書  
▽政府に対し万全の危機管理体制構築を求める意見書

▽議会の機能強化及び地方議会議員の法的位置づけの明確化等を求める意見書

▽「包括的経済連携に関する基本方針」に対する意見書

▽子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

▽森林・林業・木材産業施策の積極

的な展開を求める意見書

▽医療にかかわる事業税非課税措置等の存続を求める意見書

▽朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書

▽ロシア大統領の北方領土訪問に対し、毅然とした外交姿勢を求める意見書

▽脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

### 可決・承認された議案等（知事提出）

#### 予算関係（2件）

▽平成22年度大分県一般会計補正予算（第4号） ほか

#### 条例関係（8件）

▽職員の給与に関する条例の一部改正について

▽大分県の事務処理の特例に関する条例の一部改正について

▽森林環境の保全のための県民税の特例に関する条例の一部改正について

▽警察署の名称、位置及び管轄区域条例の一部改正についてほか

#### その他（8件）

▽当せん金付証券の発売について

▽公の施設の指定管理者の指定について（3件） ほか

### 1 第90代副議長に瀧 健児議員が就任 (3月25日)

安部議長とともに、開かれた県議会に向けた議会改革や政策立案機能強化などの議会活性化に取り組む新たな体制がスタートした。

### 2 口蹄疫対策に迅速な対応 (5月20日～6月8日)

九州各県議会議長会では、宮崎県で発生した口蹄疫の感染防止策などを盛り込んだ緊急要望を実施した。

また、口蹄疫発生に対する諸対策の実施に関する意見書や本年度一般会計補正予算案について、事態の緊急性に鑑み、開会初日に全会一致で可決した。

### 3 安部議長が九州各県議会議長会会長に就任 (7月30日)

任期は1年。これにより、大分県には、九州地方知事会長と九州各県議会議長会長の二役がそろうことになった。

### 4 開かれた県議会への取組

- ・ 出前県議会議を豊後大野市で開催 (8月24日)
  - ・ 議場で初のコンサートを開催 (10月22日)
  - ・ 議員出前講座を大分市立東植田小学校で開催 (11月1日)
  - ・ 議会ロビーを開放し、作品展を開催
- 開かれた県議会づくりの一環として、議員が県内各地へ出向き県民と直接意見交換を行う「出前県議会」や議員が学校へ出向き授業を行う

「議員出前講座」を開催した。また、県議会議をより一層身近に感じてもらうため、議場でのコンサートや議会ロビーを開放し作品展を開催した。

### 5 議会機能強化への取組

- ・ 第3回定例会の会期を例年の3倍に延長し、会期内決算審査を試行 (9月7日～10月22日)
- ・ 「地域主権改革推進にかかる研修会」を議場で開催 (9月7日)

# 大分県議会 10大ニュース

～1年を振り返って～

(項目順は時系列になっています)

研修会が本会議場で行われ、執行部や市町村議会議員にも開放した。

### 6 政務調査費の問題点の指摘 (10月18日)

政務調査費の使途や収支報告の内容について、マスクから相次いで指摘を受けた(事務所費、調査報告書、代行調査、領収書、書籍名。いずれも返還もしくは修正済みであるが、今後は問題点について各会派で構成する政策研究協議会で検討することとしている。

### 7 第137回全国都道府県議会議長会定例総会を大分市で開催 (10月26日)

総会では、安部議長が総会議長に選任された後、「平成23年度政府予算編成に関する提言」として地域主権改革の推進など36件が決定されたほか、地方議会議員年金制度の見直しに係る情勢報告や意見交換等が行われた。

### 8 九州各県議会議長会が高速道路の整備促進等について国等に対して提言・要望活動を実施 (11月10日～11日)

九州各県議会議長会が、民主党本部、国土交通省、総務省、西日本高速道路(株)などに対し、高速自動車国道等の整備促進、地方分権改革の推進などの重要事項について提言・要望活動を行った。

特に片山総務大臣との会談では、「九州広域行政機構(仮称)」について前向きに取り組むことを表明し、

大臣からも激励された。



総務大臣との会談

### 9 議員報酬および期末手当を減額する条例を全会一致で可決 (11月30日)

議員報酬月額を3千円～1万円減額し、12月支給の期末手当を1.65ヶ月分から1.5ヶ月分に引き下げる条例を全会一致で可決した。

- ・ 議長 △1万円 (98万円→97万円)、
- ・ 副議長 △5千円 (86万5千円→86万円)、
- ・ 議員 △3千円 (78万円→77万7千円)

### 10 佐々木哲也議員逝去 (12月6日)



佐々木哲也議員(57歳)が12月6日逝去された。平成15年の県議選大野郡選挙区で初当選し、合併後の平成19年には豊後大野市選挙区で再選され、2期8年にわたり活躍された。

## 第2回 議員出前講座 (宇佐市立駅館小学校)



2月4日に宇佐市立駅館小学校で今年度第2回目の議員出前講座を開催、6年生43人が受講した。

講師を務めたのは地元議員の3人。末宗秀雄議員と賀来和紘議員が県議会の役割と仕組みについて、元吉俊博議員が議員の仕事や県の事業、予算などについて説明した。ミニクイズのコーナーではすべての質問に全員で声を揃えて答えるなど、講師の話に真剣に耳を傾けていた。

その後の質問コーナーでは、多くの児童の手が上がり、「議員になって面倒だったことは何ですか？」などと児童ならではの質問も飛び出した。

最後に、児童代表で小川拓馬くんが謝辞を述べた。

### 児童の声

- 県議会について興味はなかったが、話を聞いて興味が出てきた。
- 議員の仕事や議会がない時の様子がわかってよかった。
- 議会の傍聴ができることを知り、いつか行ってみたいと思った。
- 県の予算を1万円札で積み重ねると、富士山よりも高い5,746mというのが衝撃的だった。
- 児童1人あたりの教育費が1年間で約98万円も使われていることにビックリ！もっと勉強をがんばろうと思った。
- 教育にはたくさんのお金がかかることがわかったので、これからは教科書や教材を大切に使うていきたいと思った。
- 議員さん、私たちのためにいつもありがとうございます。



## 第69回 県議会 56分勉強会



梅原店長兼料理長

須藤社長

12月7日、大分ブランドクリエイト株式会社（本社・大分市）代表取締役社長の須藤文昭氏を講師に招き、「大分県フラッグシヨップ『坐来大分』のチャレンジ」をテーマに講演をいただいた。

会社の概要や「坐来大分」の概要と役割、経営状況について語った後、店長兼料理長の梅原陣之輔氏がメニュー紹介や各種フェアの開催、マスコミを使った情報発信など現在の取組について語った。

議員からは、立地条件や経営の見直し、県産食材のPR方法や生産者へのフィードバック等について意見や質問が寄せられた。

### 坐来(ざらい)大分

東京・銀座にある大分県産の食材が味わえるレストラン。坐来には“いながらにして億いを馳せ、時を超えてめぐり会う”という意味がこめられている。「東京にいながらにして、大分の豊かな恵みを味わい、語り合う場」である。

所在地 東京都中央区銀座 2-2-2  
 ヒューリック西銀座ビル 8F  
 電話 03-3563-0322  
 ホームページ <http://www.zarai.jp>

### 永年勤続表彰

9人の議員が全国都道府県議会議長会から永年勤続の自治功労者として表彰され、12月14日の本会議後、伝達式が行われました。

#### 〈20年以上表彰〉

- 荒金 信生議員（自由民主党）
- 内田 淳一議員（県民クラブ）
- 阿部 英仁議員（自由民主党）
- 安部 省祐議員（ ” ）

#### 〈15年以上表彰〉

- 小野 弘利議員（県民クラブ）
- 志村 学議員（自由民主党）
- 久原 和弘議員（県民クラブ）

#### 〈10年以上表彰〉

- 大友 一夫議員（自由民主党）
- 麻生 栄作議員（ ” ）

### 第18回政策研究協議会

12月14日に開催され、制定に向けて検討中である「大分県がん対策推進条例（仮称）」の素案をまとめた。

がん対策について県の責務と市町村、保健医療機関、企業、県民それぞれの役割を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見、がん医療などの各種施策を推進するもの。



素案に対する県民からの意見募集を実施し、条例案を決定後、2月に開会の第1回定例会で議員提案する予定である。

### 政策研究協議会

会派を超えて、県政の様々な課題を解決する組織として、平成21年5月に設置された。委員は8人（刈健児会長）。政策立案機能の強化等に取り組んでいる。

### 県議会今後の動き

◆平成23年第1回定例会の日程（予定）

2月23日（水）開会

2月28日（月）本会議

3月3日（金）本会議

常任委員会

3月4日（木）本会議

3月7日（月）～9日（水）

本会議（一般質問）

3月10日（木）常任委員会

3月15日（火）閉会

### お知らせ

県議会を傍聴してみませんか？

本会議や委員会の傍聴をご希望の方は、日程を確認の上、会議当日、議会棟1階の傍聴受付までおいでください。先着順で傍聴券を交付します。

本会議場での傍聴については、盲導犬等の同伴ができません。

手話通訳又は要約筆記を希望される方は、本会議の前日までに、シルエットインダクター（耳掛け型補聴器）の貸し出しを希望される方は2日前までにお申し出ください。

傍聴席数は、本会議が一般席147席、車いす使用者席4席、委員会が各委員会室10席です。詳しくは議会事務局議事課まで

### 花の肖像画 ボタニカルアート

（植物画）展を開催しました

（12月1日～1月25日）

植物を観察し、形や色、特色を写実的にかつ芸術的に美しく描いた絵を『ボタニカルアート』と言います。今回は大分市内でボタニカルアート教室を主宰する田代純子さんと生徒さんの作品を議会ロビー（県庁舎新館1階）で展示しました。植物図鑑や百科事典などで描かれている精緻な植物画の原画が見る人の心を楽しませてくれました。



次回は、大分県立芸術緑丘高等学校の生徒さんの作品を展示する予定です（2月22日～3月22日）。

詳しくは議会事務局総務課まで

### 県議会ホームページ

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。

大分県議会 <http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

お問い合わせは県議会事務局各課まで

【総務課】議会庶務、情報公開など

☎ 097-506-5019

【議事課】本会議、常任委員会、傍聴など

☎ 097-506-5022

【政策調査課】調査業務、特別委員会、議会広報など

☎ 097-506-5035

点字版・音読版  
「県議会おおいた」のご案内  
本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで